

J. S. バッハ作曲

マタイ受難曲

Matthäus-Passion BWV244

日本語字幕付

指揮 福島 章恭

テノール/エヴァンゲリスト 畑 儀文

バリトン/イエス 青山 貴

ソプラノ 星川 美保子

アルト 谷地 畝 晶子

テノール 升島 唯博

バス・バリトン 山下 浩司

管弦楽 東京バロックコンソート (古楽器使用)

コンサートマスター 天野 寿彦

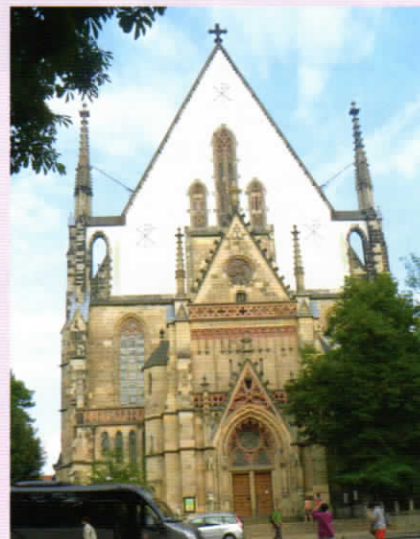
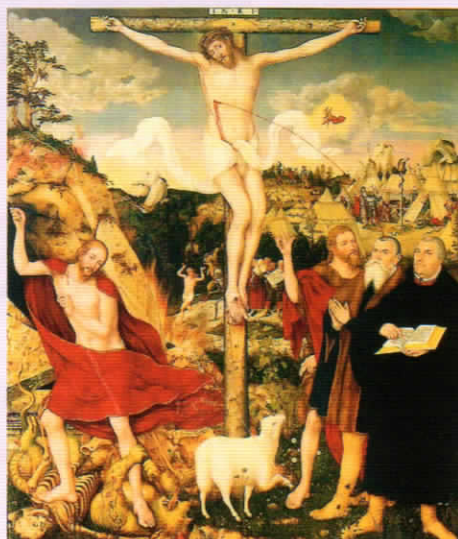
オルガン 能登 伊津子

合唱 東京ジングフェライン

長岡混声合唱団

厚木マタイを歌う会

いな少年少女合唱団 (長野県)



2016年1月30日 (土)

開場14:30/開演15:00

めぐろパーシモンホール
大ホール

(東急東横線 都立大学駅 徒歩7分)

チケット (全席自由)

料金 (税込) 2,800円

◆チケット申し込み・お問い合わせ

Tel : 042-625-6031 (齋藤)

Mail : info@tokyo-singverein.com

主催: 東京ジングフェライン

長岡混声合唱団

厚木マタイを歌う会

Kommt, ihr Toechter, helft mir Klagen 来なさい、娘たち、ともに嘆きましょ

Eli, Eli, lama asabthani? わが神よ、わが神よ、どうして私をお見捨てになったのですか？

Ruhe sanfte, sanfte ruh! 憩いたまえ安らかに、安らかに憩いたまえ！

■ 指揮 福島 章恭 Akiyasu FUKUSHIMA



桐朋学園大学演奏学科声楽専攻卒業。声楽を萩谷納、移川澄也、指揮法を紙谷一衛の諸氏に師事。1996年ベルギー・ナミュールにてフリーダー・ベルニウス氏による合唱指揮マスタークラスを受講。現在、東京ジングフェライン、長岡混声合唱団、富士ベーターヴェンコーラス、ヴォイス 2001、女声合唱団 KIBI、HANA ヴォーカル、スウィングロビン指揮者。2015年7月1日、大阪フィルハーモニー合唱団の指揮者に就任。2004年ウィーン・楽友協会大ホール、ザルツブルク・モーツァルテウムにて高田三郎《水のいのち》を現地初演。2005年ブラハ・スメタナホールにてドヴォルザーク《ミサ曲ニ長調》と《水のいのち》、2006年ウィーン・楽友協会大ホールにてモーツァルト《レクイエム》(チェコ・ブラハ管)、2009年

ウィーン・シュテファン寺院からの招聘によりモーツァルト《レクイエム》を指揮。2010年には、日本人として初めてヴァチカン・シスターナ礼拝堂で合唱コンサートを行う。また、2013年、ライブツィヒ・トーマス教会にて J. S. バッハ《ロ短調ミサ曲》を指揮。2014年10月、愛知祝祭管弦楽団との「福島章恭ブルックナー・プロジェクト」が《交響曲第8番》とともに開幕した。2017年12月5日、ウィーン・シュテファン寺院でモーツァルト《レクイエム》を指揮する予定。音楽評論家として、1994年アリオン賞(現柴田南雄音楽賞)奨励賞(本賞なし)受賞。著書に「新版 クラシック CD の名盤」「同 演奏家篇」(宇野功芳・中野雄共著、文春新書)「モーツァルトを CD で究める」「モーツァルト百科全書」「交響曲 CD 絶対の名盤」「バッハを CD で究める」(毎日新聞社)を上梓。自他ともに認めるアナログ・オーディオマニアでもある。<http://www.akiyasuf.com/>

■ ソリスト

テノール / エヴァンゲリスト バリトン / イエス

畑 儀文

青山 貴

ソプラノ

星川 美保子

アルト

谷地 敏 晶子

テノール

升島 唯博

バス・バリトン

山下 浩司



■ 合唱団について

本公演の合唱団は、福島章恭の指導で活動している東京ジングフェライン、長岡混声合唱団、厚木マタイを歌う会の3団体と、いな少年少女合唱団で構成されています。2005年10月に都内に結成された混声合唱団「東京ジングフェライン」は、2013年8月ライブツィヒ・トーマス教会でバッハ《ミサ曲ロ短調》を演奏し絶賛されたほか、モーツァルト《レクイエム》、《ミサ曲ハ短調》(レヴィン版)、バッハ《ミサ曲ロ短調》、《ヨハネ受難曲》を演奏し高い評価を得ています (<http://www.tokyo-singverein.com/>)。1985年に長岡第九合唱団として発足した「長岡混声合唱団」は、モーツァルト《レクイエム》、《ミサ・ソレムニス》、フォーレ《レクイエム》、ロッシニ《小荘厳ミサ曲》、ヘンデル《メサイア》、ブラームス《ドイツ・レクイエム》などの宗教曲のほか高田三郎《水のいのち》、《心の四季》など数多くの作品にチャレンジしてきました (<http://music.geocities.jp/nagaokakonsei/index.html>)。「厚木マタイを歌う会」は、厚木市の女声合唱団ヴォイス2001が母体となり、2014年1月にバッハ《マタイ受難曲》を歌うために発足した合唱団です (http://music.geocities.jp/voice2001_kanagawa/)。1987年5月に自然豊かな伊那市に誕生した「いな少年少女合唱団」は、小学校3年生から高校3年生で構成されており、県内・国内の演奏活動を始め、ハンガリー演奏旅行(4回)、フィンランド演奏旅行を行っています。2013年には全国の少年少女合唱団を対象に選考された第18回「花とライオン児童合唱音楽賞」を地方都市の合唱団としては初めて受賞しました。なお、東京ジングフェラインを主体とする上記3団体の有志は、2016年3月1日、ライブツィヒ・トーマス教会において、今回演奏する《マタイ受難曲》を捧げます。

■ めぐるパーシモンホールへのアクセス



駐車場は駐車台数に限りがございますので、ご来館には公共交通機関をご利用ください。